

選手村の枕を寄贈 大阪コロナ大規模医療・療養センターへ

ロフテー株式会社（東京都中央区日本橋 代表取締役社長 吉川正）の関連企業である株式会社エアウィーヴは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村で使用された寝具一式を大阪府が設置する「大阪コロナ大規模医療・療養センター」に寄贈しました。寄贈された寝具のうち枕は、当社が開発した枕で選手村から回収し、同センターで1016個が再利用されます。

新型コロナウイルスの感染が再び急拡大した時に備え医療・療養体制の確保が必要とされるなか、寝具の再利用を通じて同センター設置に協力することと致しました。



サイズ：横63cm×縦43cm
カバー：ポリエステル85% 綿15%
中綿：ポリエステル100%

選手村に提供した枕は、91年間の枕研究で培った「身体の構造」、「寝姿勢」、「睡眠」という3つの視点から導いた独自のノウハウを元に、東京2020大会特別仕様枕が完成しました。枕の仕様は、当社が掲げている「頸部支持構造」を踏襲しています。立体縫製により、中央は、人の頭の丸みに合わせて低め、首にあたる部分は、やや高め、両サイドは寝返りを打って横向きになった時の肩の厚みを考慮してさらに高めに作っております。綿がしっかりとつまっているため、仰向きも横向きも身体に無理な負担がかからず、しっかりと頭と首・肩を支えることで、リラックスしてお休みいただけます。また、枕の素材はポリエステル綿を採用し、綿ぼこりが立ちにくく、アレルギーをお持ちの方にも安心してご使用いただけます。



洗濯機OK！ロフテーの枕はまるごと洗えるから安心

汗や臭いの気になる時も、洗濯機に対応しているのでいつでも清潔に気持ちよく眠れます。

■寄贈先 大阪府

■寄贈数
枕 1016個

<内訳>

軽症・無症状患者用病床 800個
中等症患者用病床 200個
医療従事者仮眠室用ベッド 16個

■用途

「大阪コロナ大規模医療・療養センター」において、病床や医療従事者・職員らの休憩用に使用される予定

▶ 「大阪コロナ大規模医療・療養センター」概要

- 設置場所：インテックス大阪6号館(大阪市住之江区)
- 設置者：大阪府
- 病床数：1000床

▼ロフテーとは

創業93年。百貨店を中心に全国に50店舗を展開。枕の専門知識を持つピローフィッターが231名在籍する枕の老舗メーカー。始まりは創業者が不眠で悩み、出張先のホテルに自分の枕を持ち込んだことから研究をスタート。**首のカーブに合わせて枕の高さを選ぶコンサルティング販売を日本で初めてスタートさせました。**また、寝姿勢の研究により、**日本で初めて抱き枕を販売した企業です。**お客様の睡眠の悩みに寄り添いながら、一人ひとりにフィットする枕をご提案いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

ロフテー株式会社 TEL：03-6281-8341
広報担当 潮見、佐伯 MAIL：pr@lofty.co.jp
公式サイト：<https://www.lofty.co.jp/>